

2013年2月22日(金) 日刊工業新聞 15面

誠実な企業決定

最優秀賞にブリヂストン

企業の社会的責任(CSR)や企業倫理などで優れた活動に取り組む企業を表彰する「誠実な企業」賞で、ブリヂストン(写真)が2013年の最優秀賞に選ばれたことが分かった。3月22日に東京都中央区の東京証券取引所で表彰式を開く。優秀賞にはヤマトホールディングス(HD)、伊藤忠商事の両社が選出された。同賞を主催する「誠実な企業」賞審議会は、CSRを重視した経営が中長期的に見て市場で高い競争力を持つと見ており、今後、受賞各社の動きが一段と注目されそうだ。

「誠実な企業」賞はCSRや企業倫理のほか、コンプライアンス(法令順守)や内部統制などに優れた企業が選ばれる。調査会社のインテグレックス(東京都渋谷区)が12年下期に調査を実施し、これに基づいて企業を推薦。その上で「誠実な企業」賞審議会在が審査し、決定する仕組みだ。今年の表彰が11回目。

同審議会は、CSR活動の推進を支援する産学の有識者8人で構成。ENアソシエイツ社長の長友英資氏を委員長に、インテグレックス社長の秋山をね氏、東京証券取引所常務の静正樹氏、日本ベル投資研究所社長の鈴木行生氏、麗澤大学経済学部教授・学部長の高巖氏らがメンバーとなっている。